

# 令4年度 はなえみ保育園自己評価



＜評価＞

評価するにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

A たいへんよい B よい C 検討・改善を要する

| 項目              | 内容  | 評価 |   |   | 意見・改善策                 |
|-----------------|---|----|---|---|------------------------|
|                 |   | A  | B | C |                        |
| 発達の基本<br>子どもの援助 | 保育課程を基本方針に基づき作成している。                        | ○  |   |   |                        |
|                 | 指導計画の評価・検討を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を見直している       |    | ○ |   |                        |
|                 | 1人1人の子どもの発達状況・目標・生活状況についての記録がある。            | ○  |   |   |                        |
| 健康<br>管理        | 子どもの体調・怪我などについては、特に留意し、保護者に伝えている。           | ○  |   |   |                        |
|                 | 子ども1人1人の健康状態に関する情報が職員に周知されている。              | ○  |   |   |                        |
| 食事              | 落ち着いた環境で楽しく食事ができるように工夫している。                 | ○  |   |   |                        |
|                 | 食事の状況に基づき調理内容を改善している。                       | ○  |   |   |                        |
|                 | アレルギー疾患、慢性疾患を持つ子供に対し、医師からの指示を得て適切な対応を行っている。 | ○  |   |   |                        |
|                 | 間違いがないように個別のトレーや食器を使用し、職員、調理師の相互に確認している。    | ○  |   |   |                        |
| 環境<br>保育        | 園内が清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している。             | ○  |   |   |                        |
|                 | 屋内外の衛生面・安全面に配慮している。                         | ○  |   |   |                        |
| 保育<br>内容        | 子どもが基本的な生活習慣を身に付けられるような環境整備がされている。          | ○  |   |   |                        |
|                 | 身近な生活経験の中で、命の大切さや季節感など、豊かな感性を育むよう配慮している。    | ○  |   |   |                        |
|                 | 生活や遊びを通して、数・量の感覚が身につくように配慮している。             | ○  |   |   |                        |
|                 | 身体を使った様々な遊びが取り入れられている。                      | ○  |   |   |                        |
|                 | 様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現出来るように配慮されている。     | ○  |   |   |                        |
|                 | 絵本の読み読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。               | ○  |   |   |                        |
|                 | 社会的ルールが身につくように配慮している。                       | ○  |   |   |                        |
|                 | 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。       | ○  |   |   |                        |
| 子育て<br>支援       | 障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。          | ○  |   |   |                        |
|                 | 保育者は日常、保護者や子どもの様子を見、虐待の予防や早期発見に努めている。       | ○  |   |   |                        |
|                 | ほいくしよ便りやクラス便りなど定期的に発行している。                  |    | ○ |   |                        |
|                 | あらかじめ年間行事の日程を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすいようにしている。  | ○  |   |   |                        |
|                 | 地域における子育てのニーズを把握し、子育て支援を実施している。             |    | ○ |   |                        |
|                 | 高齢者施設などの方々との交流の機会を設けている。                    |    |   | ○ |                        |
| 組織<br>運営        | 他の保育所・幼稚園と交流する機会を設けている。                     |    | ○ |   | コロナにより地域との交流が難しい状況である。 |
|                 | いつでも育児相談ができる体制が整っている。                       |    | ○ |   |                        |
|                 | 保育の質の向上や改善のための取り組みを、計画的に実施している。             |    |   | ○ |                        |
| 安全<br>衛生<br>管理  | 職員全員が参加する会議(職員会・研究会)が定期的に行われている。            |    |   | ○ | 職員全員が参加する状況を設定することは難しい |
|                 | 非常勤職員にも、日々の保育に必要な情報が伝わる仕組みがある。              | ○  |   |   |                        |
|                 | 事故や災害に対応するためのマニュアルがあり、全職員に周知されている。          | ○  |   |   |                        |
| 安全<br>衛生<br>管理  | マニュアルはすぐに手に取れる場所にある。                        | ○  |   |   |                        |
|                 | 職員に周知するための研修や訓練が定期的に行われている。                 | ○  |   |   |                        |